

<技術情報検討会資料>

技術情報検討会は、新知見のふるい分けや作業担当課の特定を目的とした事務的な会議体であり、その資料及び議事録は原子力規制委員会の判断を示すものではありません。

資料 3 3 - 1 - 2

## 2次スクリーニングの検討状況（案）

平成30年9月12日

原子力規制企画課

（規制に取り入れるか必要性を判断するために調査を必要とした案件（継続調査中））

NO.	番号	件名	事象の概要と対応状況	優先度	目標判断時期	規制庁担当課
1	RIS201 6-05	安全関連システム に組み込まれたデ ジタル装置	<p>組み込み型デジタル装置(EDD)を適用する際には、原子力安全系に要求される QA プロセス(10 CFR 50 Appendix B)に則り、ソフトウェア品質管理や共通要因故障解析等が必要である。しかしながら、EDD の汎用品グレード格上げ(CGD)プロセスにおいて、前記 QA プロセスを行うことは現実的ではない。一方で、QA プロセスを経ず用いられた EDD のトラブル事例も報告されている。そこで、NRC は、前記プロセスに準拠しないデジタル機器を安全系に適用するための規制基盤及び CGD プロセスの改善を、統合アクションプラン(IAP)に含めることを検討している。</p> <p>一方、米国産業界(IEEE)でも、汎用 EDD を原子力発電所の安全系に適用するに際し、既存のプログラマブル・デジタル機器の IEEE 標準の要求を全て満足させることは困難なので、対応可能な新 IEEE 標準を策定予定である。</p> <p>なお、国内では、JEAG4609「安全保護系へのデジタル計算機の適用に関する指針」や JEAC4620「安全保護系へのデジタル計算機の適用に関する規程」が用いられている。また、JEAC4111-2013「原子力安全のためのマネジメントシステム」、および、JEAG 4121-201X「JEAC 4111-2013 の適用指針」において、汎用(市販)品に対するマネジメントシステムの基本的考え方が示されている。</p> <p>米国の動向を継続してウォッチし、国内規制対応の要否について調査・分析を続ける。</p>	B	2018 年末(米 IAP 発行時)	原子力規制部 原子力規制企 画課 技術基盤グル ープ

注) 優先度(SABC)の決定マトリックス

		可能性	
		高	低
影 響 度	大	S	A
	中	A	B
	小	B	C

※優先度とは、事前に検討の順番を決めるための指標である。